

Shelter

機能改善情報

2022年7月

ナレッジスイート株式会社

※リリース当日までに、画像イメージ等に変更がある場合があります。

1. 「テーブルの管理」の機能強化
 - ・「エディタ」に「削除時に画像を削除」を追加
 - ・「ビュー」にフィルタの有効化/無効化の設定を追加
 - ・「ビュー」に「フィルターの状態を保持」「ソートの状態を保持」を追加
 - ・「エクスポート」に「標準エクスポートを許可」を追加
 - ・「プロセス」の通知に「通知種別」を追加
 - ・「リマインダー」に「リマインダー種別」を追加
2. 「通知」および「リマインダー」の通知先の機能強化
3. レコードのインポートで任意の項目をキーに指定できる機能を追加
4. エディタ項目に設定値を追加
 - ・チェック項目に「入力必須」オプションを追加
5. 「テナントの管理」の機能強化（※開発者向け）
6. ルックアップに上書きを制御する機能を追加（※開発者向け）

■ 1. 「テーブルの管理」の機能強化

1-1 「エディタ」に「削除時に画像を削除」を追加

テーブルの管理の「エディタ」タブにて、設定項目に「削除時に画像を削除」のチェックボックス追加します。
 (※デフォルトはチェックあり)

The screenshot shows the 'Editor Settings' (エディタの設定) page. It includes sections for 'Current Settings' (現在の設定), 'Select Item List' (選択アイテム一覧), and 'Item Link Settings' (項目連携の設定). At the bottom, there are checkboxes for various permissions and actions. The checkbox 'Delete images at deletion' (削除時に画像を削除) is checked and highlighted with a red box.

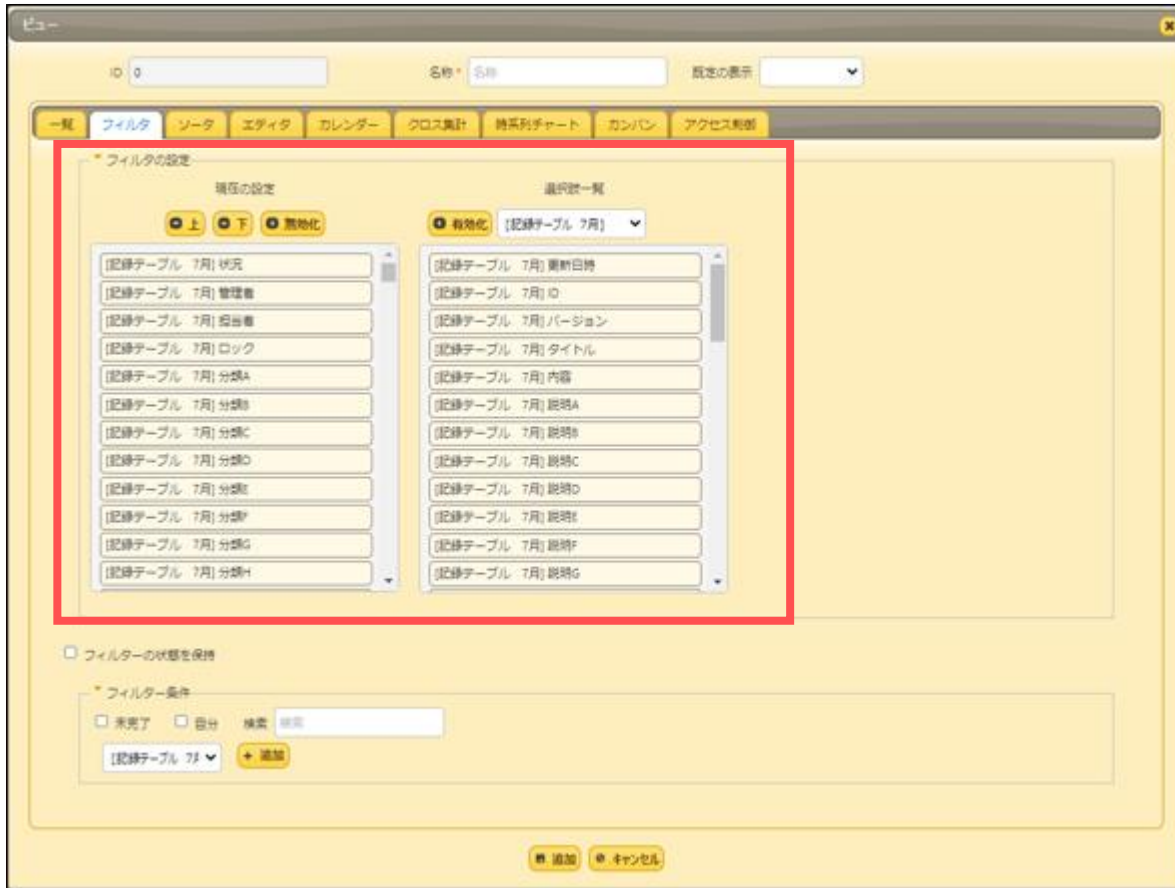
本機能は、同一の画像URL（![image]～）を複数レコードにて使用していた場合にご活用いただける機能です。

例えば、画像が貼付されているレコードをコピーした場合、同一の画像URLがコピー先にもリンクされます。デフォルト（チェックあり）では、画像を貼付した元レコードを削除した場合には、コピー先のレコードの画像は削除されてしまいます。「削除時に画像を削除」のチェックを外すと、画像を貼付した元レコードを削除した場合でも、コピー先のレコードでは画像が表示されたままとなります。

■ 1. 「テーブルの管理」の機能強化

1-2 「ビュー」にフィルタの有効化/無効化の設定を追加

テーブルの管理の「ビュー」タブにて、「フィルタ」の設定項目に「フィルタの設定」を追加します。ビューごとにフィルタ設定領域で使用する項目の有効化/無効化ができるようになります。



■ 1. 「テーブルの管理」の機能強化

1-3 「ビュー」に「フィルターの状態を保持」「ソートの状態を保持」を追加

テーブルの管理の「ビュー」タブにて、「フィルタ」の設定項目に「フィルターの状態を保持」、「ソータ」の設定項目に「ソートの状態を保持」を追加します。

設定すると、フィルタ、ソートの状態を保持したままビューを切り替えることが可能になります。

The screenshot shows the 'ビュー' (View) configuration window. At the top, there are fields for 'ID' (0), '名称' (Name), and '既定の表示' (Default display). Below this is a navigation bar with tabs: '一覧' (List), 'フィルタ' (Filter), 'ソータ' (Sort), 'エディタ' (Editor), 'カレンダー' (Calendar), 'クロス集計' (Cross-tabulation), '時系列チャート' (Time series chart), 'カンバン' (Kanban), and 'アクセス制御' (Access control). The 'フィルタ' tab is active. Under 'フィルタの設定' (Filter settings), the checkbox 'フィルターの状態を保持' (Keep filter state) is checked and highlighted with a red box. Below it, under 'フィルター条件' (Filter conditions), there are checkboxes for '未完了' (Incomplete) and '自分' (Myself), a search field, and a dropdown menu set to '[記録テーブル 7月]'. A '+ 追加' (Add) button is present. At the bottom, there are '追加' (Add) and 'キャンセル' (Cancel) buttons.

The screenshot shows the 'ビュー' (View) configuration window with the 'ソータ' (Sort) tab active. The 'ソートの状態を保持' (Keep sort state) checkbox is highlighted with a red box. Under 'ソート条件' (Sort conditions), there is a 'ソータ' (Sort) dropdown menu and a '+ 追加' (Add) button. At the bottom, there are '追加' (Add) and 'キャンセル' (Cancel) buttons.

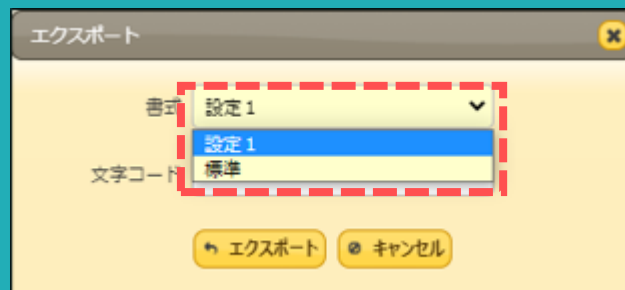
■ 1. 「テーブルの管理」の機能強化

1-4 「エクスポート」に「標準エクスポートを許可」を追加

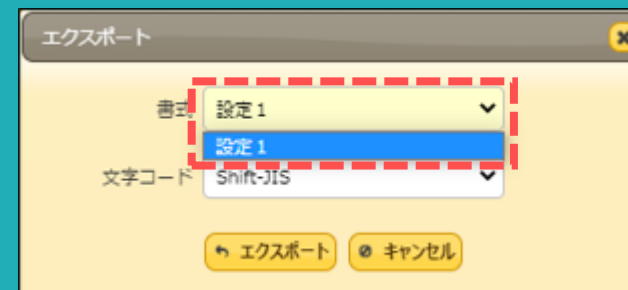
テーブルの管理の「エクスポート」タブにて、設定項目に「標準エクスポートを許可」のチェックボックスを追加します。エクスポート時の書式項目において「標準」の表示/非表示が設定できるようになります。（※デフォルトはチェックあり）



■ チェックあり（「標準」が表示される）



■ チェックなし（任意で設定した書式のみ表示される）



■ 1. 「テーブルの管理」の機能強化

1-5 「プロセス」の通知に「通知種別」を追加

テーブルの管理の「プロセス」タブにて、「通知」の設定項目に「通知種別」を追加します。
通知先にInCircle等のチャットツールを指定できるようになります。（※設定方法はテーブルの管理＞通知機能と同じです）

The screenshot shows a dialog box titled '通知' (Notification) with a close button (X) in the top right corner. The dialog contains several input fields and a dropdown menu. The '通知種別' (Notification Type) dropdown is currently set to 'メール' (Email) and is open, showing a list of options: 'メール', 'InCircle', 'Slack', 'ChatWork', 'LINE', 'LINEグループ', 'Teams', and 'Rocket.Chat'. The '件名' (Subject) field is empty. The 'アドレス' (Address) field is empty. The '内容' (Content) field is empty. At the bottom of the dialog, there are two buttons: '追加' (Add) and 'キャンセル' (Cancel).

■ 1. 「テーブルの管理」の機能強化

1-6 「リマインダー」に「リマインダー種別」を追加

テーブルの管理の「リマインダー」タブにて、設定項目に「リマインダー種別」を追加します。
通知先にInCircle等のチャットツールを指定できるようになります。（※設定方法はテーブルの管理＞通知機能と同じです）

リマインダー

リマインダー種別: メール

件名: InCircle, Slack, ChatWork

内容: LINE, LINEグループ, Teams, Rocket.Chat

行: [タイトル] --- [担当者] ([状況])

差出人: 差出人

宛先: 宛先

項目: 日付A

開始日時: 2022/07/02 00:00

期間種別: 毎日

範囲: 30 日

URLを送信しない

過去に完了したのも送信

該当が無い場合は送信しない

期限切れを送信しない

無効

追加 キャンセル

■ 2. 「通知」および「リマインダー」の通知先の機能強化

「通知」「リマインダー」において、種別が「メール」の場合の宛先に組織/グループを指定できるようになります。無効となっている組織/グループには通知されません。

<アドレスにIDを直接指定する>

アドレスの指定	説明
[Dept1]	組織IDが「1」の組織に所属するユーザに通知されます
[Group1]	グループIDが「1」のグループに所属するユーザ/組織に通知されます

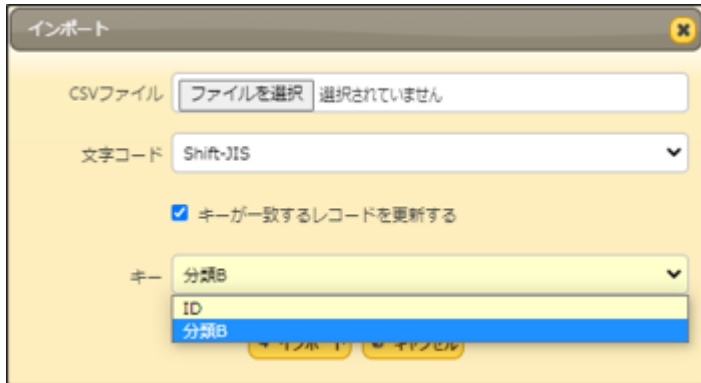
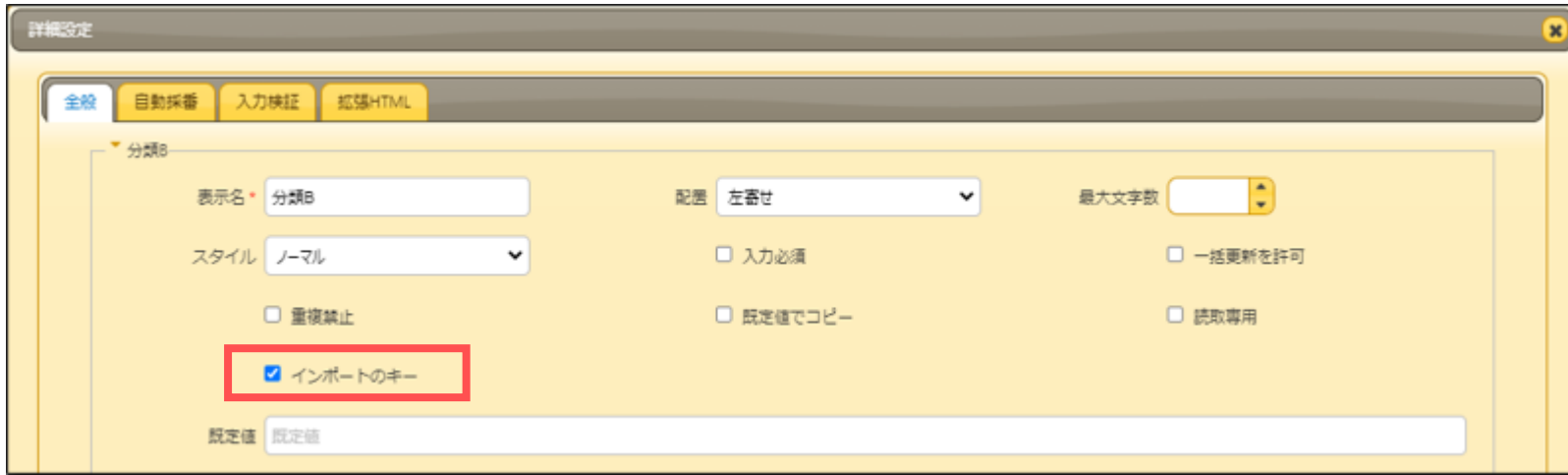
※組織IDやグループIDは、管理メニューで確認できます

<アドレスに分類項目を指定する>

分類項目の表示名	分類項目の選択肢一覧	アドレスの指定	説明
組織	[[Depts]]	[組織]	対象レコードの分類項目に設定された組織に所属するユーザに通知されます
グループ	[[Groups]]	[グループ]	対象レコードの分類項目に設定されたグループIDに所属するユーザ/組織に通知されます

■ 3. レコードのインポートで任意の項目をキーに指定できる機能を追加

分類、内容、タイトル、説明項目の詳細設定に「インポートのキー」を追加します。
設定すると、レコードをインポートする際のキー項目として利用できるようになります。
同一キーが複数レコードある場合はインポートエラーとなるため、キーとして利用する場合は「重複禁止」との併用がおすすめです。



■ 4. エディタ項目に設定値を追加

以下エディタ項目の「詳細設定」に設定を追加します。

- ・チェック項目に「入力必須」オプションを追加

The screenshot shows a '詳細設定' (Detailed Settings) dialog box with a close button in the top right corner. It has two tabs: '全般' (General) and '拡張HTML' (Advanced HTML). The 'チェックA' (Check A) section is expanded, showing the following settings:

- 表示名 (Display Name): チェックA
- 配置 (Layout): 左寄せ (Left-aligned)
- 既定値でコピー (Copy default value):
- 読み専用 (Read-only):
- 入力必須 (Input Required):** (This checkbox is highlighted with a red box)
- 一括更新を許可 (Allow bulk update):
- 既定値 (Default value):
- 説明 (Description): 説明
- 自動ポストバック (Auto postback):
- 回り込みしない (Do not wrap):
- 非表示 (Hidden):
- フィールドCSS (Field CSS): フィールドCSS
- コントロールCSS (Control CSS): コントロールCSS
- フルテキストの種類 (Full text type): 無し

At the bottom of the dialog, there are three buttons: 変更 (Change), リセット (Reset), and キャンセル (Cancel).

■ 5. 「テナントの管理」の機能強化（※開発者向け）

「テナントの管理」の「HTMLタイトル」に “[Action]” 機能を追加します。
設定すると、「一覧」「編集」「カレンダー」などそのページの種別がタイトルバーに表示されるようになります。

<設定例>

HTMLタイトル	
トップ	[TenantTitle]
サイト	[TenantTitle]-[SiteTitle]-[Action]
レコード	[TenantTitle]-[RecordTitle]-[Action]

<表示イメージ>



ルックアップ°の転記先項目に値が入っていない場合のみ値を転記するように設定可能となります。

■ 設定例

下記の例では「グループ」を選択肢に設定し、「グループ」を選択した際に、「グループ名称」を分類Eに転記します。このとき分類Eに値が設定されている場合は上書きせず、分類Eに値が設定されていない場合のみ転記します。

```
[
  {
    "TableName": "Groups",
    "Lookups": [
      {
        "From": "GroupName",
        "To": "ClassE",
        "Type": 0,
        "Overwrite": false
      }
    ]
  }
]
```

選択肢	説明
Overwrite	Toで指定した項目に既に値が設定されている場合は上書きせず、値が設定されていない場合のみ転記したい場合は false を指定します。Overwriteは省略可能です。省略した場合の規定値は true です。